8/30 毎日

女性のスキルに注目

一流を目指す

4年目を迎えたHBMS 3

Wink・村上さん「社内広報」受注拡大へ

全国の流通小売業を中心に販売促進を支援する「アスコン」（本社・福山市）は、県内限定のタウン情報誌「Wink」の発行で知られる。若い女性をターゲットに、広島、福山・備後版の2種類を毎月数万部発行。責任者の村上真知子さん(42)はHBMS（県立広島大学院経営管理研究科）の2期生で、「モチベーションの高い多くの人と出会えたのは私の財産」と語る。

自宅は福山市に接する岡山県井原市。地元で就職を考え、1999年、アスコンに入社した。最初の職場がWink編集部で、企画部、営業部などを経て、2016年に課長職としてWink編集部に戻った。スタッフは福山、広島を合わせて約30人。月に何度も福山と広島を行き来し、営業のほか編集、デザインを取り仕切る。

チームをまとめ、売り上げをどう伸ばすか。マネジメントの方法に悩み、悶々としていた時期だった。同年夏、取引先の社員が会社見学に訪れ、同行していたマーケティングが専門のHBMSの女性教授と懇意になった。Winkの今後について情報交換している うち、進学を勧められた。

HBMSは、「起業する」「イノベーションを起こす」「マネジメント力を高める」「事業を承継・発展させる」という目的認識のもと、「広島から世界に発信する人材を育てる」ことを大きな目標に掲げる。村上さんは、16年度後期の試験を受け17年4月に入学。「学ぶことの大切さ、楽しさはもちろんだけど、さまざまな業種の方の考え方、発想を2年間で学べたことが大きかった」と話す。

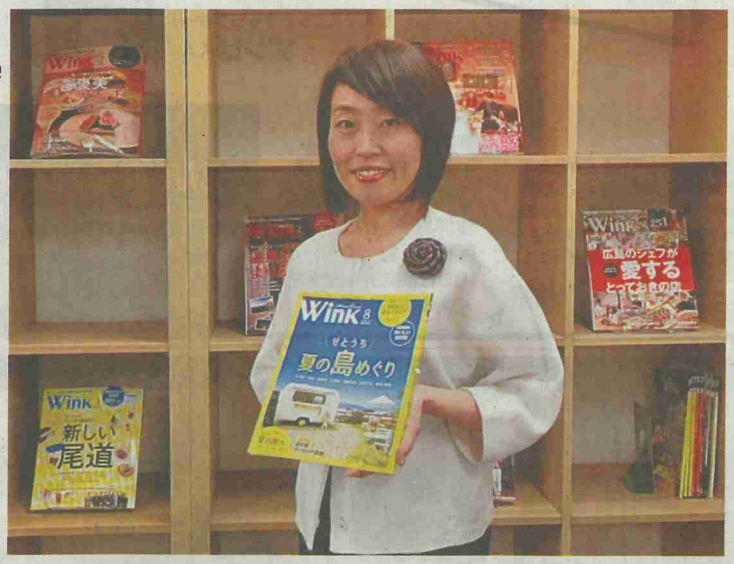
アスコンの主力品目は折り込みチラシを中心とした商業印刷物で、売り上げ構成比の約7割を占めるという。ただし、インターネットなどの普及で、印刷受注は年々減少しているといい、村上さんは「広報支援ビジネス」に注目している。

Winkで培ったノウハウを活用した社内広報誌を受注拡大する際に、そのスキルを持つ女性を社外から発掘する。「子育てや出産でキャリアを諦めてほしくない。働ける時間を登録してもらい、その活用を行うプラットホームを構築できれば、経営課題でもある人件費のスリム化と、女性の働き方の多様化という二つの課題解決が図れる」。村上さんはHBMSのビジネスプラン発表で、ウーマンとメゾン（家）をつなぐという願いを込めた造語「WoMaison（ウーメゾン）スキルバンク」の社外設立を打ち出した。

アスコンには、販売促進支援を行う約130社の顧客がある。「WoMaisonは女性の力を『活かす』『集める』『育てる』の3本柱で構成し、総合的に女性の働き方を支援する」。今をビジネス拡大のチャンスと捉えている。

【元田禎】

＝つづく



「グッドタイミングでHBMSに出会えた」と語る村上真知子さん ＝中区のWink編集部で